

信州大学医学部附属病院にて採血を実施される患者様へ
—残余検体使用へのご協力をお願いいたします—

「遊離型 25-ヒドロキシビタミン D 標準測定法の確立とその病態評価への応用」
に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	遊離型 25-ヒドロキシビタミン D 標準測定法の確立とその病態評価への応用に関する研究
所属(診療科等)	信州大学医学部 臨床検査部
研究責任者(職名)	石嶺 南生(臨床検査技師長)
研究実施期間	医学部長による許可日～2031 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	血液中の遊離型ビタミン D 濃度をより正確に測定する方法を確立し、骨や血管の状態との関連を調べることを目的とした研究で、通常の診療で採取した血液の残り(残余検体)を用いるため、新たな採血等の負担を伴うことなく、ビタミン D のより精度の高い評価法の確立に貢献すると考えられます。
対象となる方	2026 年〇月〇日から 2030 年 3 月 31 日の期間に当院にて採血を実施される方。
利用する診療記録/検体	性別、年齢、身長、体重、腹囲、血圧、問診データ(既往歴、喫煙習慣、飲酒習慣、運動習慣等)、骨密度、検査結果／血液
研究方法	平衡透析という方法を用いて血液中の遊離型ビタミン D を分離し、質量分析装置で測定する方法を確立したうえで、骨密度や血液検査データとの関連性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	石嶺 南生(信州大学医学部附属病院臨床検査部・臨床検査技師長) 電話:0263-37-2805(内線 6405)

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、

参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。